

1 熱・痛み（鎮痛・解熱・抗炎症薬・片頭痛薬）

処方薬	アスピリン <p>イミグラン（スマトリブタンコハク酸塩）</p> インデバン（インドメタシン） SG 配合顆粒 カロナール（アセトアミノフェン） セレコックス錠（セレコキシブ） タリージェ（ミロガバリンベシル酸塩） プルフェン（イブプロフェン） ボルタレン（ジクロフェナクナトリウム） リリカ（プレガバリン） ロキソニン（ロキソプロフェンナトリウム水和物）
市販薬	エルペインコーワ タイレノール A バファリン A、バファリンルナ J フェリア ナロン m ノーションアセトアミノフェン錠、ノーションアセトアミノフェン錠 A ボルタレン AC ローション、ボルタレン EX テープ ロキソニン S、ロキソニン S プラス、ロキソニン S プレミアム

2 筋肉の痛み・こわばり（中枢性筋弛緩薬）

処方薬	テルネリン（チザニジン塩酸塩） ミオナール（エペリゾン塩酸塩）
------------	---------------------------------

3 かぜ（総合感冒薬）

処方薬	PL 配合顆粒 ベレックス配合顆粒
市販薬	パイロン PL 錠、パイロン PL 錠ゴールド、パイロン PL 顆粒、パイロン PL 顆粒 Pro パブロン S ゴールド W 錠、パブロン S ゴールド W 微粒
注意	<ul style="list-style-type: none">市販薬には禁止物質（エフェドリンなど）が配合された製品が多いため、製品名全体が完全に一致することを確かめる。 かぜの特効薬はないので、症状にあわせて1、4、14などの薬を選んで使用した方が有効な場合もある。

4 せき・たん（鎮咳去痰薬）

処方薬	アストミン（ジメモルファンリン酸塩） フスタゾール（クロベラスチン） ムソコルバン（アンブロキシオール塩酸塩） ムコダイン（L- カルボシステイン） メジコン（デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物）
市販薬	新コンタックせき止めダブル持続性 ストナ去たんカプセル タイムコール去たん錠
注意	市販薬には 禁止物質 （エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

5 じんましん・アレルギー・花粉症（アレルギー用薬）

処方薬	アレグラ（フェキソフェナジン塩酸塩） アレジオン（エピナスチン塩酸塩） アレロック（オロパタジン塩酸塩） インタール（クロモグリク酸ナトリウム） ザイザル（レボセチリジン塩酸塩） ザジテン（ケトチフェンフマル酸塩） シダキュアスギ花粉舌下錠（スギ花粉エキス原末） デザレックス錠（デスロラタジン） ピラノア錠（ピラスチン） ミティキュアダニ舌下錠（コナヒョウヒダニ・ヤケヒョウヒダニ抽出エキス）
市販薬	アレグラ FX アレジオン 20 クラリチン EX
注意	市販薬には 禁止物質 （エフェドリンなど）が配合された製品が多い。

6 胃炎・胃潰瘍

処方薬	アルサルミン（スクラルファート水和物） ガスター（ファモチジン） ガストローム顆粒（エカベトナトリウム水和物） セルベックス（テプレノン） タケキャブ錠（ボノプラゼンフマル酸塩） ネキシウム（エソメプラゾール） パリエット錠（ラベプラゾールナトリウム） プロテカジン（ラフチジン） マーロックス懸濁用配合顆粒（乾燥水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム） ムコスタ（レバミピド）
市販薬	アシノン Z 胃腸内服液、アシノン Z 錠 ガスター 10
注意	市販薬には 禁止物質 （ストリキニーネ）が含まれているものがある。

7 腹痛（鎮痙・鎮痛薬）

処方薬	ブスコパン錠（ブチルスコポラミン臭化物）
市販薬	コランチル A 顆粒 サクロン Q

8 消化不良・食べ過ぎ（消化酵素配合薬）

処方薬	タフマック E ベリチーム配合顆粒
市販薬	エビオス錠（* 指定医薬部外品） タナベ胃腸薬ウルソ パンラクミン錠（* 指定医薬部外品）

9 便秘

処方薬	アミティーザカプセル（ルビプロストン） グーフイス（エロピキシパット水和物） 酸化マグネシウム ブルゼニド錠（センノシド A・B） モビコール配合内用剤（マクログール 4000） ラクソベロン（ピコスルファートナトリウム水和物） リンゼス（リナクロチド）
市販薬	イチジク浣腸 コーラック 酸化マグネシウム E 便秘薬

10 整腸薬・下痢止め

処方薬	タンナルビン（タンニン酸アルブミン） ビオスリー配合錠（ラクトミン・酪酸菌・糖化菌） ビオフェルミン R（耐性乳酸菌） ラックビー微粒 N（ビフィズス菌） ロベミン（ロペラミド塩酸塩）
市販薬	イノック下痢止め ロペラマックサット

11 吐き気・乗り物酔い

処方薬	トラベルミン配合錠（ジフェンヒドラミンサリチル酸塩・ジプロピリン） ナウゼリン（ドンペリドン） プリンペラン（メトクロプラミド）
市販薬	センバア QT、センバアトラベル 1、センバアドリンク、センバアブチベリー、センバアラムキュア マイトラベル錠

12 不眠・イライラ（催眠鎮静薬）

処方薬	アモバン錠（ゾピクロン） セルシン（ジアゼパム） デエビゴ錠（レンボレキサント） ハルシオン錠（トリアゾラム） ベルソムラ錠（スボレキサント） マイスリー錠（ゾルピデム酒石酸塩）
------------	---

	ロゼレム錠（ラメルテオン）
市販薬	ドリエル
注意	催眠鎮静薬の海外への持ち出し、持ち込みには厳重な規制がある。

13 痔疾用薬

処方薬	ヘモクロンカプセル（トリベノシド）
市販薬	ボラギノール M 軟膏、ボラギノール M 坐剤
注意	経直腸による糖質コルチコイドの使用（注入軟膏および坐剤を含む）は禁止されるが、肛門周囲に塗布する糖質コルチコイドを含有する痔疾患治療の軟膏は、使用可能である。

14 鼻づまり（耳鼻用薬）

処方薬	アラミスト点鼻液（フルチカゾンフランカルボン酸エステル） ザジテン点鼻液（ケトチフェンフマル酸塩） ブリビナ液（ナファゾリン硝酸塩）
市販薬	エージーアレルカット EXc パブロン鼻炎アタック JL
注意	<ul style="list-style-type: none">糖質コルチコイドの経口・注射・経直腸使用は禁止だが、点耳・点鼻は使用可能である。 血管収縮薬であるナファゾリンなどの点鼻は、用法・用量に従う限り使用可能である。

15 目薬（眼科用薬）

処方薬	抗菌薬・ビタミン類・人工涙液の処方薬は使用可能。
感染症	
市販薬	サンテ抗菌新目薬 ロート抗菌目薬 EX
ビタミン類・疲れ目	
市販薬	サンテ 40 プラス ロートゴールド 40
人工涙液・ドライアイ	
市販薬	スマイルコンタクトビュア ソフトサンティア

洗眼薬	
市販薬	アイボン d フレッシュアイ AG
花粉症	
市販薬	アイリス AG ガード
注意	糖質コルチコイドの経口・注射・経直腸使用は禁止だが、点眼、軟膏は使用可能である。

16 にきび（尋常性ざ瘡治療薬）

処方薬	アクアチム（ナジフロキサシン） スタデルム（イブプロフェンピコノール） ゼビアックス（オゼノキサシン） ディフェリングゲル（アダバレン） ペビオゲル（過酸化ベンゾイル）
市販薬	エバユースにきび薬 オロナイン H 軟膏 テラマイシン軟膏 a

17 うがい薬・口腔内殺菌薬・口内炎薬

処方薬	含嗽用ハチアズレ顆粒（アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・炭酸水素ナトリウム） SP トローチ（デカリニウム塩化物）
市販薬	浅田館のどくールスプレー イソジンうがい薬
注意	糖質コルチコイドの口腔内使用は禁止されている。

18 抗菌薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬

処方薬	アメナリーフ（アメナメビル） イトリゾール（イトラコナゾール） イナビル吸入粉末剤（ラニナミビルオクタン酸エステル水和物） クラビット（レボフロキサシン水和物） クラリス（クラリスロマイシン）
------------	--

ケフラーール (セファクロル)
サワシリン (アモキシシリン水和物)
ジスロマック (アジスロマイシン水和物)
ゾピラックス (アシクロビル)
ゾフルーザ (バロキサビルマルボキシル)
タミフル (オセルタミビルリン酸塩)
ネイリンカプセル (ホスラフコナゾール-L-リシンエタノール付加物)
パキロビッドバック (ニルマトレルビル、リトナビル)
バルトレックス (バラシクロビル塩酸塩)
ミノマイシン (ミノサイクリン塩酸塩)
ラゲブリアカプセル (モルヌビラビル)
エンペシドL、エンペシドL クリーム
メディトリート、メディトリートクリーム

市販薬

19 ビタミン・滋養強壮

- ・**ビタミン剤**：各種ビタミンは禁止されていない。しかし、ビタミン類に種々の強壮薬などを配合した製剤、とくに外国製品には禁止物質を含むものがある。医薬品の場合には内容を明記してあるが、医薬品以外は使用しないほうが賢明である。
- ・**滋養強壮保健薬**：医薬品にも男性ホルモンやストリキニーネなどの禁止物質やモニター物質を含むものがある。漢方を含むものや外国製品も組成不明が多く、禁止物質陽性となることが多い。使用しないほうが賢明である。

20 鉄欠乏性貧血 (鉄剤)

処方薬 フェルムカプセル (フマル酸第一鉄)
フェロ・グラデュメット錠 (硫酸鉄)
フェロミア (クエン酸第一鉄ナトリウム)

市販薬

ファイチ
ヘマニック
マスケゲン錠

注意 鉄剤は、経口投与が原則で、注射 (静脈内投与) は鉄過剰・健康障害のハイリスクとなる。

21 気管支炎・気管支喘息

処方薬 アズマネックスツイストヘラー (モメタゾンフランカルボン酸エステル)
アドエア (サルメテロールキシナホ酸塩、フルチカゾンプロピオン酸エステル)
アトロベントエロゾル (イプラトロピウム臭化物水和物)
オーキスタービューヘイラー (ホルモテロールフマル酸塩水和物)
オノン (برانルカスト水和物)
オルベスコインヘラー (シクレソニド)
キプレス (モンテルカストナトリウム)
キュバルエアソール (ベクロメタゾンプロピオン酸エステル)
サルタノールインヘラー (サルブタモール硫酸塩)
シムピコート タービューヘイラー (ホルモテロールフマル酸塩水和物、ブデソニド)
シングレア (モンテルカストナトリウム)
セレベント (サルメテロールキシナホ酸塩)
テオドール (テオフィリン)
テリルジー (フルチカゾンフランカルボン酸エステル、ウメクリジニウム臭化物、ピランテロールトリフェニル酢酸塩)
バルミコート (ブデソニド)
フルタイド (フルチカゾンプロピオン酸エステル)
フルティフォームエアソール
(フルチカゾンプロピオン酸エステル、ホルモテロールフマル酸塩水和物)
レルベア

注意

- ・ベータ2作用薬は常時禁止物質であるが、サルブタモール、ホルモテロール、サルメテロール、ピランテロールの吸入 (ネブライザーは除く) は、添付文書記載の用法・用量に従う限り使用可能である。
- ・糖質コルチコイドの経口・注射・経直腸使用は禁止されるが、喘息の疾患に対する吸入による局所使用は可能である。

22 高血圧

処方薬 アジルバ錠 (アジルサルタン)
アダラート (ニフェジピン)

アムロジン (アムロジピンベシル酸塩)
オルメテック OD 錠 (オルメサルタンメドキシソミル)
ニューロタン錠 (ロサルタンカリウム)
ノルバスク (アムロジピンベシル酸塩)
プロプレス錠 (カンデサルタンシレキセチル)

注意

- ・利尿薬との配合薬は禁止である。
- ・ベータ遮断薬は競技種目により禁止である。

23 痛風・尿酸血症

処方薬 ウラリット (クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物)
コルヒチン錠 (コルヒチン)
ザイロリック錠 (アロプリノール)
フェブリック錠 (フェブキソスタット)
ユリノーム錠 (ベンズプロマロン)

注意

プロベネシドは禁止である。

24 糖尿病

処方薬 経口血糖降下薬 (SGLT2 阻害薬を含む) および GLP1 受容体作動薬は使用可能。
注意 インスリンは禁止である。

25 ワクチン

処方薬 インフルエンザ HA ワクチン
子宮頸がんワクチン
新型コロナウイルスワクチン

26 月経関連 (女性ホルモン薬)

処方薬 ジェミーナ配合錠 (レボノルゲストレル、エチニルエストラジオール)
ディナゲスト (ジエノゲスト)
デュファストン錠 (ジドロゲステロン)
トリキュラー錠 21、トリキュラー錠 28 (レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール)
ノルレボ錠 (レボノルゲストレル)
プラノバル配合錠 (ノルゲストレル・エチニルエストラジオール)
マーベロン 21、マーベロン 28 (デソゲストレル・エチニルエストラジオール)
ヤーズフレックス配合錠 (ドロスピレノン・エチニルエストラジオール)
ルナベル配合錠 LD、ルナベル配合錠ULD (エチニルエストラジオール・ノルエチステロン)
補足 女性ホルモン薬は月経周期の変更、経口避妊薬、アフターピル (緊急避妊薬) にも用いられる。

27 消毒薬

処方薬 イソジン (ポビドンヨード)
オスバン (ベンザルコニウム塩化物)
ヒビテン (クオールヘキシジングルコン酸塩)

市販薬

オキシドール
マキロン S

本リーフレットは日本スポーツ協会のホームページよりダウンロードできます。具体的な医薬品についての問い合わせ方法についても記載しています。アンチ・ドーピング情報と併せてご確認ください。

HPはこちら⇒ <https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid537.html>



〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

アンチ・ドーピング 使用可能薬リスト

2023年版 (有効期間：2023年1月1日～2023年12月31日)

- 本リストには、競技会時を含めいつでも安心して使用できる薬をあげました (競技会外検査では競技会検査禁止物質の一部を検査)。
- 禁止物質でも申請手続きにより「治療使用特例 (TUE)」を受けられる場合があります。また使用量が少なく尿中濃度が低ければ使える薬などありますが、そのような使用条件に制限がある薬はあげておりません。
* 特定競技において使用が禁止される薬もあります。各競技の禁止物質リストを参照し注意してください。
- 本リストは例示であり、他にも多くの使用可能な医薬品があります。
- ジェネリック医薬品 (後発医薬品) は、先発医薬品と同等の有効成分を含有しておりますので、基本的には使用可能です。
- 本リストは、世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) の禁止表国際基準 (1月1日発効) に伴い、毎年改定されます。

〈凡 例〉

処方薬：医師の処方が必要な薬

市販薬：処方せんなしで買える薬

() 内は成分名

市販薬は名前全体が**完全に一致**することを確かめてください。ほとんど同じ名前でも頭に「新」が、終わりに「錠」や「会社名」あるいは「アルファベット」がついているだけで組成が異なる場合があります。



スポーツ振興くじ助成事業